



2016年もあつと言う間に1か月が過ぎましたね。「光陰矢の如し」月日の過ぎる速さを感じてしまいます。

さて、先日欽ちゃんファミリーの一員であり、和歌山県出身、コニタンの愛称で呼ばれているタレント小西博之さんの「がん体験講演・生きている喜び～末期がんからの生還～」というセミナーを受けてきました。今月はそのお話を少しさせて頂こうと思います。



～小西博之さん(写真右)プロフィール～

昭和34年生 中京大学商学部卒業(高校教員免許)

「欽ちゃんの週刊金曜日」のレギュラーを始め「ザ・ベストテン」2代目司会者を務める。ヒット曲「銀座と雨の物語」を清水由紀子さんとデュエット。その他、TV・映画出演多数。2005年に腎臓がん(ステージⅣ)で大手術を行い、90日にわたる壮絶な闘病生活を体験。

自身を見守ってくれている人々の存在に改めて気づき「前向きに生きる事」の大切さ、全ての人々の感謝の心を学ぶ。

命にかかわる重篤な状態からの大闘病だったにも関わらず、笑いを交えながらのあつと言う間の2時間でした。

その中で、特に印象に残った事をいくつかご紹介いたします。

・小西さんの腎臓がんは、手術後にお医者さんから間違いなく日本で5本の指に入る大きさと言われた位だったそうです。手術跡も見せて下さいましたが、大きな体に50cmはあろうかという位の生々しい傷跡



(小西さんの傷跡)

・小西さんは、ご自身の体験と三重県的女子中学生で、お母さんは妹さんを生む時に母子共に亡くなり、その後お父さんもすい臓がんでご両親を亡くし「多くの人の命を救いたい」との思いから看護の道を志した女子中学生の作文より、命の大切さをテーマに「いのちのうた」というCDを出されており、売上金を「がんの子供を守る会」等に寄付を続けている。

・**現在日本人の約50%は一生のうちにガンにかかりますが、その内3分の2「つまり3人の内2人は助かる」という事実**。但しガンを治すためには多額のお金が必要である。小西さんは、弟さんが地元で保険の代理店をしており一時金500万円が貰え闘病時に助かった。(内100万円を手術前に先生にそっと渡したそうです(笑))

・こどものガンは大人の付き添いが必要になり、父母どちらかが仕事を辞める事を余儀なくされ、家計収入の減少と闘病で身体・精神の疲労と共に資金面でも苦しい状況になる。

我々は医者では無いので直接お客さまの病気を治したりはできませんが、資金面での備えについて、また多くのお客さまや日々の学習により得た医療情報などを通じて、お客様やそのご家族の病気と闘う力を側面からご支援する事ができます。

ちなみに私も子供が生まれた時、真っ先に考え申し込んだ保険は学資保険(こども保険)ではなく、娘がガンや骨髄移植など本当に重い病気になった時のための医療保険でした。ご参考までに…

クラークメンバー 近況報告

8年ぶりのインフルエンザ

1月の終わりごろにインフルエンザにかかりました。前回インフルエンザになったのが中学生の頃だったので、久々の高熱に少し戸惑いました。今の薬が吸引式なのは知っていましたが、実際に使ったのは今回が初めてだったので、できちんと吸引できているか心配でした。長い間インフルエンザにかかっていなかったため予防接種もしていませんでした。油断してはいけませんね…。

熱が引いてからも喉の調子が戻らず、ガラガラのカスカスの声だったので電話に出るとお客さまにとっても驚かれました。

愛知県は2月3日にインフルエンザ警報が発令されたようです。皆さんもどうかお体にはお気を付け下さい。 小池



イメージチェンジ?!

先日、目の調子が悪くコンタクトレンズが入らなかったためメガネで出勤しました。普段メガネをかけていないせいか、だいぶ印象が違ったようで別人のように思われ、自分でもびっくりしました。あまり似合わないと思っていましたが意外にも好印象でした(^) 落ち着いて見える?!

カラーコーディネートの資格をもっているため、カラーを使っている印象UPは得意です。服の色によって顔映りが変わり印象が変わるんですよ♪

髪型、メイク、メガネ、アクセサリ、服、小物 etc ...

いろいろと印象は変えられますよね。

普段あまり変えないので、たまにはいつもと違った自分で周りの反応をみるのも新たな発見もありいいですね。 古川



“ながくて冬まつり”をご存知ですか？

小川 真紀

最近、クリスマスの時だけでなく色々な所でイルミネーションをよく見かけるようになりましたね。長久手でも冬の風物詩となっているイルミネーションですが、12月初旬から1月末まではなみずき広場や図書館通りが華やかな光で飾られ、なみずき広場にはイルミネーション迷路が常設されています。

迷路は園芸などで使用されるラティスで作られ、そこに電飾が付けられているものですが、真っ暗な所で輝いていてすごくきれいに見えますよ。先日、車で通った際に迷路を見つけた子供が遊びたくなり行って来ました。

寒い中、迷路をクルクル回り興奮して遊ぶ子供を待つ親は「あと〇回ね」と言っていたのですが、もちろん我が子も「あと〇回ね」を何度もやっていました。

